

福祉



介護のススメ! 希望と創造の老人ケア入門

三好 春樹 著 筑摩書房 Y/369.2/ミ

[ちくまプリマー新書]
介護職の3Kとは「感動」「健康」「工夫」である。介護＝苦しいというイメージが変わる一冊。

◆福祉ってなんだ

古川 孝順 著 岩波書店 Y/369/フ [岩波ジュニア新書]
高齢社会や格差問題など、多くの問題のセーフティネットである福祉。社会福祉の仕組みを解説し、謎多き福祉の理解を深める。

◆自宅で死にたい

老人往診 3万回の医師が見つめる命

川人 明 著 祥伝社 Y/498.0/カ [祥伝社新書]

東京の下町で長年在宅診療を行い看取ってきた医師による命の記録。そこには命を救う医療とは別の医療があった。

◆若者が無縁化する

仕事・福祉・コミュニティでつなぐ

宮本 みち子 著 筑摩書房 Y/367.6./ミ [ちくま新書]

少子高齢化が進むなか、貧困などの恵まれない環境にある若者が急増している。国の将来を担う若者が社会から孤立、排除されない具体的な救済方法を、政策や支援から考える。

◆底辺への競争

格差放置社会ニッポンの末路

山田 昌弘 著 朝日新聞出版 Y/361.8/ヤ [朝日新書]

だれもが下流に転落する不安を抱えながら生きている現代、日本の未来はどうなっていくのか。新しい社会保障や新しい連帯の必要性を述べる。

◆弱者の居場所がない社会

貧困・格差と社会的包摂

阿部 彩 著 講談社 Y/361.8/ア [講談社現代新書]

「社会的包摂」とは、誰一人として排除されることのない社会のこと。貧困や格差の問題を社会とのつながりや役割などから考える。

科学



「研究室」に行ってみた。

川端 裕人 著 筑摩書房 Y/402.1/カ

[ちくまプリマー新書]

砂漠でバッタを追う博士、日本初の超重元素の錬金術師、宇宙エレベーターを研究する会社員等...「好き」を突き詰めた研究者の実態に迫る。

◆科学は誰のものか

社会の側から問い直す

平川 秀幸 著 日本放送出版協会 Y/404/ヒ [生活人新書]

暮らしに深く関わる科学技術は「夢と希望の科学技術」から「問題としての科学技術」へと変化している。未来へ向けた議論や検討に一般人が参加する重要性を述べる。

◆科学は未来をひらく

桐光学園+ちくまプリマー新書編集部 編 筑摩書房 Y/404/カ [ちくまプリマー新書]

渋滞問題は数学で解決できる！年間 14 兆円も損をするという渋滞問題。その仕組みと解決策を数学のプロが解説する。

◆科学と人間の不協和音

池内 了 著 角川書店 Y/404/イ [角川 one テーマ 21]

原発事故前にはもてはやされていた科学が、事故後には問題視され不安感すら与えている。科学と人間の間に生じている不協和音について探り、現状から将来を考える。

◆人工知能の核心

羽生 善治, NHK スペシャル取材班 著 NHK 出版 Y/007.1/ジ [NHK 出版新書]

急速に進歩している人工知能。人間は人工知能に対峙するのか、それとも使いこなしそこから得られるものを発展させていくのか。人工知能がもたらす未来とは？

◆明日、機械がヒトになる

ルボ最新科学

海猫沢 めろん 著 講談社 Y/504/ウ [講談社現代新書]

3D プリンタ、アンドロイド、人工知能など最新のテクノロジーを対談形式で解説！高まる技術の先にある人間にとっての幸せを考える。

新

書

- 環境
- 情報
- グローバリゼーション
- 心理
- いのち
- 福祉
- 科学

No.1の本

